

会 議 録

1 会議の名称 第3回学校施設利活用検討委員会

2 会議日時 令和5年7月13日(木) 午後3時～午後4時50分

3 開催場所 川根本町役場3階 大会議室

4 出席した者の氏名

(1) 委 員 鈴木淳二委員長、川口舞子委員、植田直美委員、板谷康平委員、  
澤西省司委員、佐々木直也委員、勝間田夏帆委員、鈴木康司委員  
(欠席：森下洋一委員、山田典秀委員、芹澤慎一郎委員、  
西原睦実委員、森下正章委員、)

(2) 執行機関 事務局 総務課長 山田貴之、  
財務管理室 室長 高村康弘、主幹 久保圭弘

(3) そ の 他 傍聴人 なし

5 議題

- (1) 開会
- (2) 町内ニーズ調査の結果について
- (3) 各施設の方向性（ビジョン）の検討について

6 会議資料の名称

- ・次第
- ・資料1 ニーズ調査集計表
- ・資料2 各施設の利活用の方向性

7 発言の内容（要旨抜粋）

事務局	(1) 開 会
	(2) 町内ニーズ調査の結果について ＝資料1をもとに事務局より説明＝
委 員	企業や団体向けのニーズ調査は、利益を生み出す方向の利用が主になると思うが、 前回の委員会で町民の意向を聞くという意見も出ていて、図書館などの公共的な利活

用の検討は別の機会で行うものとして扱っていくのか。

事務局 この調査の意図は、どんな民間活用のニーズがその学校にあるのか把握する目的で行った。町民の皆様のご意見は、区を通して汲み上げさせていただくつもりである。図書館等については、「賑わい拠点として活用」という方向性も出ており、方向性を決める中で、その機能をつけるか検討していきたい。

委員 方向性を決める期限が決まっているのか。4施設あるので、拙速に決めてしまう必要はないかと思うが。

事務局 そういう部分もあると思うが、地域に貢献できるものであれば早めに活用したい。施設の的にも長く未使用状態が続くと、住宅と同じように傷んでしまう。活用方針が早く決まれば、それだけ町民の方々に還元できるという考えから、早くできるものは進めていきたいと考えている。

委員 明日開催される区長会で各区長に投げかけて、地域の意見を取りまとめていただき、それをまた次回場で共有していただくということでもいいか。

事務局 明日の区長会では、ここまで学校施設利活用検討委員会を3回開催し、このような検討をしているという報告をする予定である。町民の皆様のご意見の集約は、ある程度この委員会としての意見がまとまった段階で、委員会の案に対してご意見をいただく形にしたいと考えている。

委員 この委員会の中の方向性が決まった段階で、それに対してパブリックコメントを行うということか。

事務局 パブリックコメントではなく、委員会の検討状況の報告、委員会の方向性のお知らせ、委員会としての考え方を区長会を通して、皆様にお知らせしていきたいと考えている。

委員 ニーズ調査でいろいろな提案が出たが、各学校の方向性をどう絞っていくか。先程利活用をじっくり考えたほうがいいという意見もあったが、内容的に早く進めていかなければならない部分もある。今回の調査は基本的に町内の企業が対象だが、町外は期待できないのか。

事務局 まずは町内事業者向けに調査を実施した。公募等で事業者を募集するに当たっては、町内、町外の区分けなしに発信し、事業者と話をしていきたい。

委員 前回話が出たサウンディングはどうか。

事務局 マッチングできるような企業の紹介を金融機関にお願いしている。

委員 旧川根町あたりの事業所が利活用を希望した場合、町内事業所と平等に扱うか。

事務局 事業所の所在地ではなく、町にどれだけプラスとなるかを総合的に判断することになる。

委員 今後、その選考という話になっていくと思うが、そのタイミングがいつなのか再度教えていただきたい。

事務局 9月を目途に、各施設の方向性をまとめた後、公募を開始し、年度内に事業所を決定していきたい。

委員長 1つの学校を同じ目的で使おうとする団体を募集すればいろいろなテナントが入ると思う。活用する上での条件に同意する団体に入ってもらえればいいから、その条件を示してあげればいい。実際に学校をきれいに維持したり、イベントを開催している熱い人達に活用していただいてもいい。皆さんの意見を伺いたい。

委員 何のための施設なのか明確な方がいい。例えば、観光で外からの人達がお金を落としてくれるような施設にするのか、また、生涯学習施設など公共性の強い施設にするのか。町としては、1校でも町営の施設として運営するのは厳しい状況なのか。

事務局 そうした利用は、今の段階では考えていない。生涯学習の施設であれば、開発センター、文化会館など今ある施設を利用していきたい。

委員 親の立場からすると公園や図書館とか公共性のある施設が集約していると行きやすいので1校でも行政の管理下に置くことは可能なのか。各施設の目的をはっきりさせていくということになると、1校くらいはまちづくりのための施設として行政が管理してもいいかと思うが。

事務局 先程の回答は、会議室等の貸出しであれば、他に施設があるので、そちらを利用してもらいたいという考えである。公園や子供の遊び場などの施設利用は、委員会のご意見としてまとめていただきたい。資料2の町の課題とビジョンでも子供の遊ぶ場所について触れていて、民間活用ありきで、そうした利活用を消しているものではない。

委員 官民複合の施設とすることも可能か。

- 事務局 可能だと考えている。
- 委員 方向性を出していかなければならないが、南部小は敷地内を流れる沢の改修を、本中はグラウンドに土砂を入れて高くするなどの対応が必要と思う。
- 事務局 南部小の沢に関しては、県に上流の治山工事を依頼して、既に現地を見ていただいているので、早い時期に手はつけられていくと思う。沢の堆積土砂も全て取り除いたので、当分の間は大丈夫と考えている。本中のグラウンドについては、以前から水が溜まる状態になるのは承知している。
- 委員 せっかくニーズ調査を行ったので具体的な提案を持っているやる気のある事業者と話を進めていくのも一つの方法ではないか。そこに図書館や公園の話を合わせていくと1つ1つ決まっていくのと思う。核となる事業所と話をしてそこから発展させていくような形で進めていってもいいと思う。
- 事務局 各施設の方向性について、資料でまとめている部分があるので説明したい。  
＝資料2をもとに事務局より説明＝
- 委員 町民の皆さんもこの委員会が今どうなってるのか気にしていて状況を聞いてくる。実際この委員会が立ち上がる前には、徳山地区を中心とする署名があり、議会ではこの検討委員会があるから、一旦否決しますという流れだった。きちんと私達1人1人が説明する義務があると思う。委員会で何を決めていくか具体的に教えてほしい。
- 事務局 具体的には9月末までに公募を行うための実施要項を固めたいと思っている。この委員会では、まず方向性を決めた上で、9月までに公募の実施要綱を固めていく作業に入っていきたい。その後の話になるが、公募における事業者からの提案が適切かどうかというご意見もこの委員会で行っていただきたいと考えている。
- 委員 町民の関心も高いので、心配するのは、この委員会で知らないうちに何か決定してしまったと言われてしまうこと。そうならないためにも、公募する前に、ここで掲げている方向性について、町民の皆さんにお示しする必要がある。投げかけるということは、この委員会の透明性を高める上でもとても大事なことと思う。
- 事務局 明日の区長会で今回までの委員会の報告をすることは先程お話したが、次回の委員会で、各学校の活用についての方向性をある程度まとめたいと考えている。それがまとまった時点で、それぞれの地区へ方向性をお示ししたい。
- 委員 ニーズ調査の結果、第一小を事務所として活用したい事業所も数社あるが、方向性の中では「地域住民の憩いの場としての活用」の文言もある。行政としては、両方の

活用もありと考えているのか。

事務局 複合的な活用もあると考えている。

委員 「各施設の利活用の方向性」に記載されている番号は優先順位か。

事務局 そういう訳ではない。

委員 方向性が複数あるなら優先順位をつけたほうがいい。例えば第一小であれば、まず始めに「1. 商業とにぎわいの拠点」でいいと思うが、次に「公共施設の集約の場」が、2番目にくると思う。そうすることで、事業者に投げかけるときも、この施設はこう利用したいと伝わると思う。

委員 ニーズ調査をした中で、希望のある事業所が学校の全部を使うのか一部を使うのか考え方もあるだろうし、公共と複合の場としてやっていきたい意見も出てくるかもしれない。町外にも公募をかけるにしても、個人の意見としては、事務局の方向性で大筋いいと思う。

委員 南部小や本中の方向性にも、「地域住民の憩いの場」という文言を入れた方がいい。優先順位は産業振興だろうが、地域住民の場として考えていることも掲げておけば、地域の方たちの理解は得やすいと思う。

委員 地域貢献活動をやっている企業とうまくマッチングできれば、イベントやごみ拾い、挨拶運動で地域住民との交流が自然と図られると思う。

委員 公募は4校同時に行うことを決めているか。

事務局 基本的には4校同時に公募をかけたいと考えている。ただ、廃校後20年近く経つ施設やまだ学校として使われている施設など立ち位置が違うので、方向性の取りまとめも含めて、提案を受け入れる段階で、例えば4校が3校、2校になる可能性はある。

委員 住宅でも会社の土地でも分譲地にする考えはないか。

事務局 グラウンドについては、南部小は一部が河川区域、本中はあまり状態がよくない、第一小については社会体育グラウンドとして利用しているので難しいと考える。

委員 校舎を解体してそこに生まれた土地を分譲地にする考えはどうか。

事務局 そういうご意見があれば委員会で議論いただいてもいいが、解体の費用と分譲して

生み出される利益を考えながら、検討していかなくてはならない。まずは施設を利活用する方向で考えていただきたい。

委員 中川根児童クラブは、独自の建物がなくて、間借りしてずっと何年もやってきたが、事情があって今、開発センターを利用してる。児童クラブの場所がどこかに設けられるといいなと思っていて、旧学校施設でとなる場合、この方向性でいくと第一小になるかもしれないが、重大なことなので委員の皆さんにも状況を承知いただきたいと思う。

事務局 放課後児童クラブについては、教育委員会と健康福祉課で協議を進めているので、委員会でも情報をお伝えしていきたい。

委員長 もし、放課後児童クラブが第一小などに入るようなら公募の前に決めた方がいい。あと企業募集のやり方などの進め方も早めに決めていかないといけない。公募する上では、当然この方向性を提示して公募することになるか。

事務局 そのとおり。提案が1社しかない場合でも、方向性に沿わない提案であれば、そこはお断りすることも考えられる。その辺りは総合的に判断する必要がある。

委員長 金融機関の方々にもご発言をお願いしたい。

委員 ニーズ調査では、かなりの地元の企業が活用したいという素晴らしい状況であった。地域貢献をするので、ぜひ誘致の採用をしてくださいという企業もいっぱいあると思う。町にとって、大切な学校の場を活用してくれる企業を選んでもらえればいいかと思う。

掛川市が掛川駅前の市有地を公募で売ったが、こども館をつかって地域貢献したいという企業が選定された経緯もある。

委員 そもそも話で、地元で使うのか、観光地化したいのかで、目的は大きく変わってくるので、根本の部分は町長、町職員の方が決めていく必要があると考える。公募をするのであれば、公平な立場で、広い意見をいただく必要もあるので、公募の要件などご相談いただければと思うので、引き続きよろしくをお願いしたい。

委員長 今日の会議では、方向性のある程度意見集約したということで、また次回、この方向性について、はっきり決めていきたいと思うが、事務局から説明をお願いしたい。

事務局 方向性の考え方がだんだん一致してきているという印象を受けているが、次回は、この方向性のまとめの機会とさせていただきたい。プラス、方向性を反映して具体的にどういった募集をかけてくるのか、素案を提示したい。次回は8月の初旬あたりに

第4回目の委員会を開催させていただきたい。

委員長 最後になにかご意見のある方はお願いしたい。

委員 町民の方からこの委員会が今どのような状況か説明を求められることがあるので、今日はここまで決まったというものを委員の皆さんで共有したい。

委員長 今回は、公募をしていく上で、公募の際に示す方向性がおおよそ決まりましたというところ。具体的なところは次回になるが、今までの3回で、方向性がやっと固まりつつある。次の委員会で方向性をより具体的につめていく。ただ単に公募しても、いろんな目的の方が公募してくるので、各学校の方向性をおおよそ決めたということで説明いただければ。

委員 「地域の賑わいづくりの場」についてはどう話をすればいいか。

委員長 例えば第一小は地域住民の憩いの場としても活用しますという方向性で、この委員会の中では話がまとまっていることになる。具体的な意見を各住民一人一人には聞けないので、区長会で、事務局が説明をして、そこからまた各地区の住民にも話をおろしてもらおうことになる。

事務局 「地域の賑わいづくりの場」についても、公募する前にそういった活用を条件として入れるということを町民にお知らせした上で、提案を受ける形をとりたい。第一小は、一部公的な利活用が絡んでくることも考えられ、その管理方法など検討の必要があるので、事務局でもう一度整理をして、次回報告したい。

委員長 今日欠席された方は、次回繰り返しの議論にまたなるかもしれないので、事務局は事前に説明をよくしてもらって、前に進めるようお願いしたい。

閉 会